令和3年度

日本原子力研究開発機構

英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（和文課題名を記載。契約時の課題名と一致させてください。）

（契約番号　R03I○○○）

（契約番号を記載。番号は毎年変わります。）

成果報告書

令和4年3月

○○○○○○○（代表機関名を正式名称で記載）

本文の和文・英文フォントは、報告書全体で揃えてください。

図表はできる限り１つのフォントに揃えてください。

フォントサイズは、10.5ポイントにしてください。

余白は、上下28㎜以上、左右25㎜以上にしてください。

誤字脱字の確認、スペルチェックをお願いします。

執筆の際には「成果報告書チェックリスト【作成時の必須項目】」をご覧ください。

ヘッダーはそのまま残し、変更しないでください。

フッターの「JAEA管理用」 および 下段「＃（JAEA管理用）」は消さないでください。

本報告書は、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構の「英知を結集した原子力科学技術･人材育成推進事業」による委託業務として、○○○○○○（代表機関名を正式名称で記載）が実施した「○○○○○○○○○○○○○○○（和文課題名を記載）」の令和3年度（最終年度の場合：令和〇年度から令和3年度）の研究成果を取りまとめたものです。

目次

概略 ⅵ

1.　はじめに 1

1.1　○○ 1

2.　業務計画 2

2.1　全体計画 2

2.2　実施体制 3

2.3令和3年度の成果の目標及び業務の実施方法 3

2.3.1　○○ 3

2.3.2　○○ 3

3.　実施内容及び成果 4

3.1　○○ 4

3.1.1　○○ 4

3.1.2　○○ 4

3.1.3　まとめ 4

3.2　○○ 5

3.2.1　○○ 5

3.2.2　○○ 5

3.2.3　まとめ 5

3.3　○○ 6

3.3.1　○○ 6

3.3.2　○○ 6

3.3.3　まとめ 6

3.4　○○ 7

3.4.1　○○ 7

3.4.2　○○ 7

3.4.3　まとめ 7

・3章の最終節（3.〇）に、連携ラボ等の人材育成の取り組みについて記載してください。

4.　結言 8

参考文献 9

・目次は、「項」まで記載してください。

　【例】 「章」　3.

「節」　3.1

「項」　3.1.1

※「目」（3.1.1.1）以降は、記載しないでください。

・目次の見出しとページ数を、スペースを空けずに点線でつないでください。

・ページ数の記載は右端を揃えてください。

・ページ数は、全体で通し番号、あるいは章毎に付与してください。

・提出前に、ジャンプ機能等の設定は解除してください。

執筆者リスト（以下は記載例です）

事業代表者

国立大学法人○○大学 教授 ○○○○

 准教授 ○○○○

委託先

○○株式会社 主任研究員 ○○○○

 ○○○○

連携先

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 グループリーダー ○○○○

・正式名称で記載してください。

表一覧

表1.1-1　 ○○○○ 5

表2.1-10　○○○○ 12

・タイトルの左端を揃えてください。

・ページ数の記載は、右端を揃えてください。

・詳細説明部分は記載しないでください。

・表番号は、必ず本文中で参照してください。

・表一覧は、「図・表・写真リスト（許諾確認用）」と一致させてください。

・許諾が不要となるものは、完全オリジナルで作成したものです。

・引用した場合は、その出典元を明記してください。

・元の図表等に手を加えた（改変した）場合は、「引用」にあたりません。

「転載」になりますので、著作権者の許諾を得て、その旨を明記してください。

・許諾が不要となる場合は、その理由を、許諾を得たものについては、その旨を、

「図・表・写真リスト（許諾確認用）」に記載してください。

図一覧

図2.1-1　 ○○○○ 5

図3.1-10　○○○○ 23

・タイトルの左端を揃えてください。

・ページ数の記載は、右端を揃えてください。

・詳細説明部分は記載しないでください。

・図番号は、必ず本文中で参照してください。

・図一覧は、「図・表・写真リスト（許諾確認用）」と一致させてください。

・許諾が不要となるものは、完全オリジナルで作成したものです。

・引用した場合は、その出典元を明記してください。

・元の図表等に手を加えた（改変した）場合は、「引用」にあたりません。

「転載」になりますので、著作権者の許諾を得て、その旨を明記してください。

・許諾が不要となる場合は、その理由を、許諾を得たものについては、その旨を、

「図・表・写真リスト（許諾確認用）」に記載してください。

略語一覧

JAEA ：Japan Atomic Energy Agency（国立研究開発法人日本原子力研究開発機構）

CLADS ：Collaborative Laboratories for Advanced Decommissioning Science

（廃炉環境国際共同研究センター）

東電 ：東京電力ホールディングス株式会社

1F ：東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所

阪大 ：国立大学法人大阪大学

高純度研 ：株式会社高純度化学研究所

○○ ：○○○○

・「：」の位置をなるべく揃えてください。

概略

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

前年度までの成果報告書：

JAEA-Review 20○○-○○

URL：http○○○○○○○○○○○○○○○○○○

・令和2年度以前に採択された課題は、前年度までの成果概要も記載ください。

(JAEA-Review番号とURLも記載ください。)

・最終年度は、当該年度も含めた事業全体の成果概要を記載ください。

・連携ラボ等の人材育成の取り組みについても成果概要を記載ください。

・文章の右端を揃えてください。（両端揃え設定）

1.　はじめに

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

・文章の右端を揃えてください。（両端揃え設定）

2.　業務計画

2.1　全体計画

・全体計画を記載してください。

・文章全体で、「章」「節」「項」「目」、それぞれの左端を揃えてください。

・「章」「節」「項」「目」と、タイトルの間にスペースを入れてください。

（例）3.　実施内容及び成果

　　　　3.1　○○

　　　　　3.1.1　○○

　　　　　　①　○○

　　　　　　②　○○

　　　　　3.1.2　○○

2.2　実施体制

全体の実施体制図を記載してください。以下は記載例です

○○○○

・試験

・実験装置設計

○○○○

・○○

・○○

課題全体の取りまとめ

○○○○大学　　　事業代表者　○○○○

2. ○○○○○

(1) ○○○○○

(2) ○○○○○

1. ○○○○○

(1) ○○○○○

(2) ○○○○○

○○○○

・試験

・実験装置設計

○○○○

・○○

・○○

再委託先（連携機関）2

○○○○○○

（再委託する実施項目の内容）

再委託先（連携機関）1

○○○○○○

（再委託する実施項目の内容）

○○○○

・試験

・実験装置設計

○○○○

・○○

・○○

研究責任者

○○○○

・試験

・実験装置設計

○○○○

・○○

・○○

研究責任者

3.　実施内容及び成果

・令和元年度に採択された課題：令和2年度までと令和3年度の実施内容及び成果を

それぞれ項（例：3.1.1と3.1.2）に分けて記載ください。

・共通事項

・PO、PDによる研究内容の軌道修正が入った場合は、その経緯を含めて該当する年度の

実施内容及び成果の項に記載ください。

・節ごとに、「まとめ」として、事業の目的に対してどのような成果が得られたのかを

明記ください。

3.1　○○

3.1.1　令和2年度までの実施内容及び成果（概要）

図3-1　○○画像（著者/社名，頁数，発行年，○○より許諾を得て転載）

3.1.2　令和3年度実施内容及び成果

3.1.3　まとめ

3.2　○○

3.2.1　令和2年度までの実施内容及び成果（概要）

図3-2　○○画像（出典：東京電力ホールディングス）

3.2.2　令和3年度実施内容及び成果

図3-3　○○画像と分布

(a)○○　(b)○○　(c)○○

3.2.3　まとめ

3.3　○○

3.3.1　令和2年度までの実施内容及び成果（概要）

3.3.2　令和3年度実施内容及び成果

3.3.3　まとめ

3.4　○○

3.4.1　令和2年度までの実施内容及び成果（概要）

3.4.2　令和3年度実施内容及び成果

3.4.3　まとめ

・3章の最終節（3.〇）に、連携ラボ等の人材育成の取り組みについて記載してください。

4.　結言

〇〇

・事業目的に対してどのような成果が得られたのか、目標が達成されたかどうか、今後の課題について明記してください。

参考文献

[1]　未来花子, 山田太郎他, 火山地域における…, 火山会報, vol.48, no.5, 2003, pp.407-413.

[2]　Ledezma, G. et al., Heat Sinks with …, J. Am. Soc. Inf. Sci. Technol., vol.48, no.5, 2003, p.407.

[3]　原子力規制…, 航空機モニタリング…, http://radio…………………（参照：XXXX年YY月ZZ日）.

[4]　Sakai, T. et al., Study on the ……, Reno, USA, 2006, Paper 6409, 7p., in CD-ROM.

[5]　機構太郎, 私信.

[6]　井出太郎, 界面制御と…, シグマ出版, 1995, 250p.

[7]　Kumazaki, Y., Published Electronic Media……, Proceedings of 20th International Conference on …, New Orleans, 2019, pp.99-104.

[8]　日本原子力研究開発機構, 第一大学, 六極不均一……, JAEA-Review 2020-088, 2020, 78p.

・参考文献は、成果報告書の巻末にまとめて、順番に番号（[1]、[2]…）を付けてください。

巻末にまとめられない場合は、成果報告書内で番号が重複しないようにしてください。

・参考文献の番号（[1]、[2]…）を、本文中に参照してください。

半角で、個々に表示してください。

（例）○○の作製[1][2][3]　　○○の作製[1][2][3]

・参考文献の原文のタイトルを、「正確に」記載してください。

（原文が日本語の場合は、日本語で記載）

・参考文献の著者名は、なるべく姓、名の順に記載してください。

（例）未来花子　Mirai, H.

・ページが、1ページの場合は、「p.407」

複数ページの場合は「pp.407-413」

総ページ数の場合は「413p.」、のように記載してください。

・ウェブ上に掲載された情報を記載する際には、上記のように参照日も記載してください。

参考文献として明記するURLにつきましては、執筆の都度、URLが有効であることを確認していただき、確認した日を参照日として明記してください。そのため、参照日は、執筆中～投稿日までの間になります。

DOIがあるものにつきましては、DOIを記載してください。（URLと参照日の記載は不要です）

・文献番号の左端を揃えてください。

・なるべく右端も揃えてください。（両端揃え設定）